



～市民パワーで、福津市をもっと 住みたいまちに！ Let's 市民力！！～

3月議会では、令和2年度の予算を審議しました。（一般会計 249 億円・総額 415 億円）
他に、人事案件 7 件に同意、議案 26 件を可決し、請願 1 件が否決されました。

田中じゅんこの3月議会報告

～一般質問から～

公共施設の統廃合・廃止の検討は、

市民に見える形で！



平成28年に策定された行財政集中改革プランは、12の公共施設を見直すものでした。市民不在の見直し方に疑問を抱いた私は、平成28年12月に、このプランについては、撤回し、やり直すことを請願し採択されました。

平成29年8月に、プラン全体の見直しが検討され、エンゼルスポットを含む※5施設は、進捗状況の説明も公表もされませんでした。しかし、昨年12月に、今後5年間の財政見通しの中で、突如エンゼルスポットの廃止が、議会に報告されました。

子育て世代の転入で子どもが急増している今、みんなで子育て・子育てを応援していく為には、エンゼルスポットが担っている役割はとて大きく、子育て支援センター「なかよし」にはない良さがたくさんあり、市民にとって大切で必要な場所だと思っていました。だからこそ、3月・6月・12月と毎回のようにエンゼルスポットの存続についての進捗状況を質問してきました。

※5施設：夕陽館、神興幼稚園、大和保育所、わかたけ広場(キャンプ場)、エンゼルスポット

そのたびに、高い家賃の交渉と、事業内容の見直しを検討中との答弁でした。

エンゼルスポットの存続については、利用者の声、働いている現場スタッフの声、有識者の意見も十分に聞いて、丁寧に検証して欲しかったのです。突然の廃止決定に、力が及ばず残念な気持ちで一杯です。

本年2月1日付「契約終了のため閉館」のお知らせは、働いている職員・利用者にとって、あまりにも突然で、周知期間が短く、不安や不信感を募らせることになっています。市民不在のこのようなやり方は、市民への裏切りだと言えます。

今後、残る4施設の改革が検討されますが、今回のようなことがないように、市民の声・現場の声を聞くこと、開かれた検討がされるよう求めました。

そして、現場で働く非常勤職員も、共に働く仲間「チーム福津」の一員という意識を持ち、まちづくりを共に進めていくことを強く要望しました。

～議案から～

エンゼルスポット条例廃止に反対！！

プランの作成時も、廃止決定時も市民不在の中で決められ、同じ過ちが2度繰り返されています。昨年7月から9月に実施されたアンケートも、存続について真剣に取り組んでいたものとは考えられません。

エンゼルスポットの廃止は、財政が主な理由で、市民不在で決定されている感は否めません。

このような状況でエンゼルスポットが廃止になることは容認できません。

国民健康保険税値上げに反対！！

医療にかかりやすくし、病気の早期発見にもつながる健康保険ですが、保険税を払えないため、病気になっても病院にいけず、深刻な状況に陥るケースもあります。

国民健康保険の前身となる「定礼」の発祥の地でもある福津市としても、国民の生活を脅かすものではないけない、国がきちんと政策をとるべきだと声をあげるべきです。

